

社会福祉法人京都梅花園

平成 27 年度事業報告書

自 平成 27 年 4 月 1 日

至 平成 28 年 3 月 31 日

社会福祉事業

1. 総括報告

今年度は前年度に引き続き、新たな利用者を受け入れることで利用料収入を増やし、福祉事業収支の赤字からの脱却を目標にまいりました。結果 52 名から 58 名と増員することが出来、心配された報酬改定による収入減があったにもかかわらず福祉サービス事業収入は前年度を上回る結果となりましたが、目標の黒字化までは至りませんでした。授産作業については、すべての事業で前年を上回る売り上げを記録し、全体として収支差額の赤字は回避できております。ただ、主力である印刷事業については他の事業の収支差額をカバーするという目的を果たすため、今後も努力いたします。

収入を回復させるための方策として、前年同様支援学校からの実習生受け入れを積極的に行い、卒業生の受け入れ先としてアピールを行っていきます。

また、28 年度はあんびしゃが山城北保健所主催の福祉事業所説明会の会場として選ばれたこともあり、その点でも新規利用者の獲得に向け努力を進めます。

授産作業については今後も就労継続 A 型利用者（雇用契約）の活用を行うことで作業効率を向上させるとともに、常勤職員の休日出勤および時間外手当等に係る人件費の削減を推進します。

別紙のとおり施設関連では毎月の利用者全員懇談会の開催、家族会の開催、外部の催しものへの参加、入所利用者の一泊旅行、通所利用者の外食体験会、など例年のとおり実施しました。

2. 作業

①作業部門の成績は以下のとおりです。（単位：千円）

作業名	売上	経費	工賃	人件費	収支	売上予算比
印刷	47,403	22,059	6,166	5,874	13,303	94.8%
製袋	18,196	10,462	4,111	3,916	▲293	107%
縫製	1,403	786	-	-	617	280.7%
リネン他	9,401	1,814	10,277	9,790	▲12,481	104.4%
計	76,405	35,122	20,555	19,580	1,145	99.8%

②支給工賃は前年比 110%（187 万円増）となりました。

3. 施設関連

①健康診断及び X 線検診は例年のとおり実施しました。入所利用者の診察は必要に応じ関係医務機関に職員が送迎して行いました。又予防接種は希望者を対象に実施し、歯科検診も京都歯科医師会により例年通り実施しました。

②施設管理

建物および設備の点検・検査は専門家に委託して法令のとおり実施しました。

設備の問題発生時には萩原・谷口両理事及び本館工事業者のミラノ工務店に依頼し迅速に対応しました。

③職員処遇

社会保険労務士に委託して職員の処遇は遺漏のないよう万全を期しました。

健康検診は例年のとおり出張検診により実施しました。